

# かながわ異グ連ニュース

## いま話題の“屋台村”を訪ねました！

芝事務局長

1月23日(日)～25日(火)北海道帯広市の「いきぬき通り」と小樽市の「レンガ横丁」の調査に行きました。(財)中小企業異業種交流財団「グループ情報調査委員会」活動の一環としての仕事でしたが、昨夏にも私的に小樽市を訪ねています。さらに2月5日(土)には栃木県宇都宮市の「屋台横丁」にも行きましたので、それらをまとめて紹介いたします。いわゆる「屋台村」の営業方式は福岡県博多のものが有名ですし、横浜にもまだ少数「おでん屋台」が横浜駅近辺に残っています。

全国的には東京オリンピックの時、横浜では万博の時に、整理・強制撤去させられました。これらは公道上での営業方式のため違法スレスレの営業形態といえます。しかし近年の「屋台村」は私有地での営業でかつ上下水道完備、近代的な共同トイレを併設など、飲食店としての許可を保健所から取得しています。従って加熱しない生もの(刺身、寿司等)も提供可能です。僅か2坪ほどの店舗ですが、オヤジと客との触れ合いの空間です。またこれから商売人として独立する創業者を支援するインキュベーション機能も果たしていますので、全国から公募しています。

帯広では氷点下-20℃でしたが、屋台内はしっかり暖房がきいており、むしろ暑い位でした。4年前の平成13年7月に発足しましたが、原則3年で契約更新ということで、昨年一度更新しており、半数が入れ代わっています。店舗数は帯広の「いきぬき通り」が20軒、青森県八戸市の「みろく横丁」(H14年11月オープン)が25軒、栃木県宇都宮市の「屋台横丁」(H16年4月オープン)が23軒、小樽市の「レンガ横丁」(H16年7月オープン)が13軒です。

発想としてはあくまで地域の発展のためであって、観光客対策ではありませんが、結構観光客も入ります。全体としては新たな観光スポットとして機能していますが、あくまで地域の常連客確保が狙い目です。また問題は何処の店にも均等に客が入っているわけではありません。結局、味やサービス、価格等々で人気の店は満杯ですが、そうでない店には人は疎らです。この点は既存の商店街と全く同じで、経営努力をしなければ「空き店舗」となってしまいます。さらに創業費用は、設備費等が2百万円～5百万円位、家賃月10万円程度であり、頑張らないと赤字倒産してしまいます。屋台村もこれから続々増加するので、今後は屋台村同士の競争となります。現に小樽市では近いうちに近隣にもう一つ出現する予定です。

帯広市の場合は、地域活性化のプランを多数持ち、その一つが「屋台村構想」だということに大きな特徴があります。坂本和昭氏(元青年会議所会員、JC)が中心になり、様々な取り組みを現在でも展開しています。ですから地域活性化のためには、単に屋台村だけを真似ると言うことは如何か?と思いました。

## 産学官交流サロンのコーナー

気楽に参加できる第6回神奈川新産学公交流サロン・よこはま』報告

異グ連事務局(広報)

3月17日(木)第6回よこはまサロンが約30名の参加で開催されました。

話題提供は、NPO法人アジア起業家村推進機構理事長：山口 務氏、中央大学・神奈川大学講師(“海援隊”事務局長)：牟田口 雄彦氏で、テーマは「スタートしたNPO法人“アジア起業家村推進機構”でした。

アジアとの共生を目指した新たな産業コミュニティを創造する「アジア起業家村構想」について、熱く語っていただきました。また参加者全員から講演についての意見交換や自己アピールがされました。

### <よこはまサロン今後の予定>

幹事

第7回：4月21日(木)野毛商店街活性化の取り組み(仮題)

小林 杉本

第8回：5月18日(木)3地区サロンの合同開催へ 高齢者福祉関連「安心と安全」(仮題)

芝、関係者

第9回：6月16日(木)中小企業による「大手企業の中央研究所の活用」(仮題)

魚崎、島津

第10回：7月21日(木)横浜トリエンナーレと産業振興(仮題)

織方、池谷

第11回：8月18日(木)産学連携事例(川異研と和光大学)(仮題)

**第6回三浦半島経済人サロン！報告** 八幡BC

2月24日（木）第6回よこすかサロンで、（協）みさきマグロ倶楽部の元気の良い岩野専務理事から「とろまん」などの開発商品の経緯や現状をお聞きした。三浦市民のルーツは和歌山、熊野、伊勢、愛知、焼津、三浦、千葉と多岐に別れ、それぞれで村を作っているようで、それが良かったり悪かったりとある由、外から眺めただけでは分からぬ問題である。

二番目は㈱T I Sの玉奥社長から「子供保護」のコンセプトで始めた事業として携帯電話に一斉にメールを送るシステムを極めて安価に提供している「携太くん」(本年度川崎市オーディションの優秀賞受賞)の紹介があり、防衛大学の元教授から軍隊の現場で使えるとのヒントが出された。他にも意外な使い方があるかも知れないということから皆で考えることとなった。

**第7回かわさき経済人ネットワークサロン報告**

異グ連事務局（広報）

2月22日（火）に約20名の参加で第7回かわさきサロンを開催しました。話題提供者は川崎市経済産業局産業振興課 新産業創出担当主幹 伊藤 和良 氏で、テーマは“川崎市の「安心ハウス」構想と地域福祉活動”でした。

少子高齢化の急進展に社会システムがついていけないという現状の大きな課題と、少子高齢化対応ビジネスの大きな市場性、先進事例、行政の取り組み等々についての紹介を頂き、出席者間でのディスカッションで時間が不足するという状況でした。

3地区合同サロン（5月18日）には先進事業者をお招きし、**高齢者福祉関連「安心と安全」**（仮題）で開かれますので、大いに期待してください。詳細案内は別途お送りいたします。

**主要な“かながわ異グ連”のプロジェクト、及び研究会の活動報告、PR**

**まんてんプロジェクト**

千田BC（JASPA社長）

**2月26日、H2A打ち上げは大成功**でした。私も種子島まで出かけ打ち上げに立会い感動を受けました。それでは2月のまんてんプロ活動状況を報告します。

●2月2日～4日の第26回テクニカルショウ横浜2005では、まんてんプロジェクトで3ブースを確保し会員12社が製品、技術の展示を行った。また併設セミナーにてプロジェクトの紹介を行った。わざわざ地方の宇宙産業大手アッセンブリー企業が面会に来るなど、手ごたえを感じた。

●2月8日にはランドマークタワーにて、まんてんプロの主催によるオープンセミナーを行った。基調講演は東大工学部 鈴木真二教授 による【日本の航空の夜明け、航空技術100年と今後の動向】。JAXA から産学連携部 連携推進グループ 内富素子専門職による【JAXAの産学連携】について。30名の出席とNHKによる取材があった。この席にて北海道衛星株式会社が進んで参加を表明した。

●JAXA から JASPA が受注した二次元展開機構は2月17日に納入した。JASPA が JAXA に取引口座を開設し、受注した初の実績である。

●2月17日の日本航空宇宙新聞に JASPA 株式会社と山内製作所のインタビュー記事が掲載された。一連のNHKの取材結果は、2月26日のH2Aの種子島での打ち上げ現場における取材も含め、集大成した内容が、2月28日【おはよう日本】の特集として7時48分から約9分間全国放送された。早速富山県中小製造業から反応があった。

**オールディーズ・シニア・クラブ 横浜市における災害時の備水対策**

小林BC

昨年12月の定例会で話題になった地震時の備水対策につき、塚平会員から報告がありました。ご参考までにお知らせ致します。

- 1、災害用地下給水タンク（主に60m3）：市内134ヶ所。（平成16年度で完成予定）
  - ① 地域防災拠点のうち、地域医療救護拠点に指定されている小中学校を中心に設置。
  - ② 普段は配水管の一部として機能し、水道水が流れている。災害時には入口と出口の弁が閉まり、タンク内に新鮮な飲料水を確保する。
- 2、配水池：市内24ヶ所、市民の1週間分の水が確保という前提です。
- 3、緊急給水栓：市内310ヶ所。
- 4、地域防災拠点における食料及び水の備蓄。  
現在、市内455ヶ所の市立小中学校（震災時避難場所）に備蓄。  
①水缶（350ミリリットル）各所の3000本ずつ。②非常食として乾パンが各所3000食の備蓄。

**5、各家庭は、内閣府の指導で、3日間自力で食料などを賄うこと。**

横浜市水道局で販売：水缶1ヶ50円、1ケース24缶入り1200円。

以上です

**三浦海洋深層水を楽しむ会** 八幡BC

2月19日春めいた土曜日「すきみ風 中とろ」の開発の苦勞話をカネ又食品からお聞きした。最初は生ハム風の加工に成功したのだが、塩辛いとケチをつけられ、一步も二歩も後退した現製品に落ち着いたとのことで、開発者としてはガッカリとのこと。原料がマグロだと刺身なみを要求され、決して他の味を求めようとしない律儀な日本人の一面を聞かされた。もちろん海洋深層水を使つての新製品なのだが、一方でマツヨナを喜んでご飯に載せて食べているんだからどうでもよいと思うが、赤みだとどうしてもワサビ醤油と相場が決まっているらしい。最初は醤油を付けなくて味わって欲しいとのことであった。なかなかいける味であるが、パンでもあれば別だが、飯もないので、悪いけど後は醤油を付けて残さぬように試食した。やはり、私も大多数の大和民族と同じだと分かった。

京急ストア（黄金町駅下にもあり）で売っているそうだから、一度は買ってみてください。帰りに三越の「うらり」で産地直販を求めたら可成り安かった。美味かった。

次回は「おから」と「まぐろ」でハンバーグを開発中の方から、試食して意見を参考にしたいとの申し出があった。今度はおにぎりで用意していこうかしら。

**シフト21**

有村BC

「シフト21」は経営変革を目指す企業と人の交流を図るグループで、業種・業態を問わない幅広い交流を目的としています。

**4月定例会は4月12日（火）、**当会会員でプロジェクト・マネジメントに関する著書もある青柳次男氏（㈱タリアセンコンサルティング取締役）に「**プロジェクト・マネジメントとは？**」と題してお話いただきます。プロジェクトの成功率は10%未満（米国の調査）と言われていています。その救世主としていま注目を集める「プロジェクト・マネジメント」との基本とノウハウについて解説していただく、必見の内容です。時間は午後6時～8時半、場所は県民センター403号室（横浜駅西口）です。

シフト21では皆様の参加を歓迎しております（初回参加は無料）。お問合せは有村まで。 [hda00467@nifty.ne.jp](mailto:hda00467@nifty.ne.jp)

**第51回日韓ビジネス協議会**

高橋BC

第51回・日韓ビジネス協議会は2月23日（水）に（社）神奈川中小企業センター5階会議室で開催しました。協議会の内容は下記の通りで出席者は16名でした。

- 1、挨拶・・・瀧澤会長
- 2、日本企業紹介：米国ファーマネックスの代理店の韓国進出（サプリメント関連）  
・・・（有）精美堂 専務取締役 野口 修氏
- 3、韓国企業紹介：美容および生活雑貨の日本進出・・・（株）DK産業 密川恵氏
- 4、韓国中小企業振興公団の2005年度活動方針・・・韓国中小企業振興公団東京事務所長 朴 魯鍊氏
- 5、メイン講演 「やぶにらみ中国紀行」＝東北部の大平原を旅して見えてきたものは＝  
・・・神奈川中小企業センター BC 斉藤俊明氏

**第52回・日韓ビジネス協議会予告**

1. 日時：3月30日（水）午後3：00～5：00（午後5：00～6：00懇親会）
2. 場所：神奈川中小企業センター：6階・特別研修室
3. 会費：1,000円（懇親会費を含む）
4. メイン講演者は（財）日韓産業技術協力財団の専務理事：「財団事業を通して観た日韓関係」を予定。関心ある企業の参加を歓迎致します。参加時には事務局の高橋まで連絡して下さい。TEL：045-311-0094

**異グ連事務局長会議について**

異グ連事務局次長 渡部

神奈川異グ連事務局長会議は異グ連常設会議の中でも、総会（年1回）及び理事会（年3～4回開催）に次ぐ重要度の高い会議です。毎月1回、参加団体の事務局長・実務責任者が集い、各団体の活動内容報告から異グ連全体の活動方針討議まで、広範囲に渡り話し合いが持たれております。

各会員グループの事務局責任者に於かれては、ご多忙とは存じますが、自グループの意見を異グ連運営に反映させるためにも是非ご出席願います。なお企業会員、個人会員のオブザーバー出席も歓迎いたします。

**KIK（'85神奈川異業種交流プラザ）報告**

渡部BC

平成16年度のKIK活動は、「会発足の原点に帰る」意味から、各月定例会では会員企業訪問と代表者によるミニ講演会（演題：自社の経営革新）を実施して参りました。平成17年度は更に深く掘り下げて「次世代の経営者（後継者）問題」を扱って行きたいと考えております。そのため、**5月13日（金）に、米沢電機工業会等関係団体をお呼びして「後継者問題シンポジウム」の開催**を目指しております。もし、ご興味がありましたらご一報下さい。

<連絡先： [tjsira@hotmail.com](mailto:tjsira@hotmail.com) KIK事務局 渡部>



今話題の個人情報保護法について、C&Sグループの菊地先生に特別寄稿いただきました。4回連載でお送りしています。

## 特別寄稿

## 個人情報保護法とプライバシーマーク入門（2）

—個人情報取扱事業者の義務（その1）—

C&Sグループ 菊地 博BC

前回は個人情報保護法の概要について説明しました。今回は個人情報取扱事業者の義務のうち、本人に対する義務について概略を説明します。

### （1）利用目的に関する義務

個人情報の利用目的をできるだけ特定しなければなりません。本人の同意を得ないで、利用目的の範囲を超えて、個人情報を取り扱うことはできません。利用目的として「事業活動に用いるため」、「提供するサービスの向上のため」、「マーケティング活動に用いるため」のように漠然としたものではだめです。

### （2）取得に関する義務

不正の手段により個人情報を取得してはなりません。個人情報の取得時に利用目的を公表していない場合は、利用目的を本人に通知するかまたは利用目的を公表しなければなりません。申込書や契約書などの書面あるいはユーザ入力画面により、直接本人から個人情報を取得する場合には、あらかじめ本人に利用目的を明示しなければなりません。

利用目的の公表方法には、ホームページへの掲載、店舗の見やすい場所への掲示、パンフレットへの記載などの方法があります。

### （3）保有個人データに関する義務

保有個人データに関して本人から次の①～④の要求があった場合は原則として行わなければなりません。

①利用目的の通知

②保有個人データの開示

③保有個人データに誤りがあり事実でないという理由による訂正

④手続違反の理由による保有個人データの利用停止

②～④の要求に応じる際には、本人確認が必要です。本人確認の方法としては、運転免許証やパスポートなどがあります。住民票の写しだけではだめです。

### （4）第三者提供に関する義務

個人データを第三者に提供する場合、事前に本人の同意を得る必要があります。親子兄弟会社間や同業者間での個人データの交換は第三者提供に当たります。業務委託や共同利用は第三者には該当しません。例外措置として、オプトアウトを行っている場合には、本人の同意なく個人データを第三者に提供することができます。

### （5）苦情の処理

個人情報の取扱いに関する苦情を適切かつ迅速に処理するよう努めなければなりません。苦情処理窓口の設置や苦情処理の手順を定めるなど体制の整備に努めなければなりません。

つづく

（次回は個人情報取扱事業者の義務のうち社内管理に関する義務の概要を説明します。）

## 品川区戸越における交流サロンの新設提案

異グ連事務局次長 渡部

TV等でよく見かける東京都品川区の戸越銀座商店街では現在、電線の地中埋設工事に伴う街全体の活性化計画が立案されつつあります。その一手法として交流サロン<地域交流サロン>を提案致しました。もしこれが採択された場合には神奈川異グ連にも協力・支援要請が参ると思われまますので、皆様のご協力方お願い申し上げます。

かながわ異グ連会員の方、会員でない方、どなたでも自由に情報交換・投稿が出来ます。

（投稿先：事務局（広報）小野川利昌 [onogawa@hkg.odn.ne.jp](mailto:onogawa@hkg.odn.ne.jp)、FAX044-954-6254

相楽 守 [mamorusagara@mve.biglobe.ne.jp](mailto:mamorusagara@mve.biglobe.ne.jp) FAX03-3701-9712）